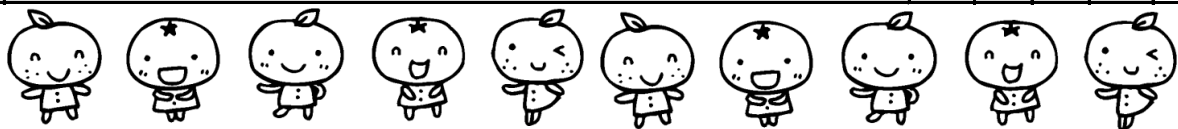


令和7年度 幼児教育に関するアンケート

4. そう思う 3. やや思う 2. あまり思わない 1. そうおもわない

牧港こども園

	評価項目	回収人数				65
		4	3	2	1	合計
1	園は、意欲的に活動や遊びに取り組む子を育てようとしている。(つよい子)	58	7	0	0	65
		89%	11%	0%	0%	100%
2	園は、優しさやおもしろいのある子どもを育てようとしている。(なかよくする子)	56	8	1	0	65
		86%	12%	2%	0%	100%
3	園は、善悪の判断ができ、ルールを守る子どもを育てようとしている。(かしこい子)	55	8	2	0	65
		85%	12%	3%	0%	100%
4	園は、基本的な生活習慣(あいさつ・手洗い・うがい・身の回りの始末等)が身に付く取組みや指導をおこなっている。	60	4	1	0	65
		92%	6%	2%	0%	100%
5	園は、集団生活のルールを守る指導をおこなっている。	56	8	1	0	65
		86%	12%	2%	0%	100%
6	園は、話を聞く力、話す力が身に付くよう指導している。	56	8	1	0	65
		86%	12%	2%	0%	100%
7	園は、小学校との連携ができていて1年生への移行が安心である。	53	10	2	0	65
		82%	15%	3%	0%	100%
8	園は、避難訓練や安全指導(交通安全・防犯指導)などを行い、安全に対する意識や習慣が身に付くよう努めている。	58	7	0	0	65
		89%	11%	0%	0%	100%
9	園の施設設備は整備管理され、子どもの安全に配慮している。	53	10	2	0	65
		82%	15%	3%	0%	100%
10	園は、家庭や地域と連携しながら、教育保育活動に努めている。	52	13	0	0	65
		80%	20%	0%	0%	100%
11	園は、気軽に訪問でき、子どもについて相談しやすい雰囲気である。	58	7	0	0	65
		89%	11%	0%	0%	100%
12	保育教諭は、言葉遣いや身だしなみに配慮している。	59	6	0	0	65
		90%	10%	0%	0%	100%
13	園は、園の情報を園だより、クラスだより、各種お知らせ等を通して分かりやすく伝えている。	54	9	2	0	65
		83%	14%	3%	0%	100%
14	園は、行事前の連絡がしっかりしている。	51	13	1	0	65
		78%	20%	2%	0%	100%
15	園は、子どもの様子を話したり、知らせたりしてくれる。	51	12	2	0	65
		78%	19%	3%	0%	100%
16	子どもは、喜んで園に通っている。	52	10	3	0	65
		80%	16%	4%	0%	100%
17	子どもは、家庭でこども園での出来事や友達・先生のことを話している。	51	10	3	1	65
		78%	15%	5%	2%	100%
18	私は、子どもに朝食を摂れるように心がけている。	57	8	0	0	65
		88%	12%	0%	0%	100%
19	私は、子どもに早寝・早起き・早登園を心がけている。	36	24	5	0	65
		55%	38%	7%	0%	100%
20	私は、園行事やPTA活動に参加するよう努めている。	31	24	8	2	65
		48%	37%	12%	3%	100%
21	私は、子どもから一日の出来事などの話を聞くように心がけている。	47	16	2	0	65
		72%	25%	3%	0%	100%
22	私は、子どもと一緒に地域の行事に参加するよう心がけている。	20	28	14	3	65
		30%	43%	22%	5%	100%



令和7年度

幼児教育活動の評価と反省

牧港こども園

○評価の尺度

評価は、4(十分達成できている)、3(おおむね達成できている)、2(達成に努力が必要である)1(達成できていない)の4段階の尺度を用います。

I 園経営

回答 11名

☆共通理解・共同実践(教育目標)		評価 2月	意 見・改善策 等
1	教育目標は幼児、こども園、地域の実態、課題に即応している	3.0	・教育目標について園児と考え、その姿を保護者にドキュメンテーションで発信したり、クラス懇談会で教育目標に触れ、担任の話を進める等、意識して保育を進めた。 ・教育目標を、園児にもわかりやすい言葉に変えたり、現状にあったものにする等の見直し、検討が必要と思われる。 ・子どもたちにも教育目標を意識できるよう普段の園生活の中でも伝えていく。 ・教育目標や園の取り組みを保護者に伝える必要を感じる。
2	教育目標は職員、幼児、保護者に理解されている	3.0	
3	具体的重点実施事項を設定し取り組みを実践している	2.8	
4	教育課程に基づいて「計画・実施・評価」がなされ、次年度にいかし改善するようになっている	3.0	
☆組織づくり		評価	意 見・改善策 等
5	目標の達成を目指す分掌組織になっている	3.0	・毎日、ミーティングが行われ全職員に共有・周知を図り運営に活かされている。 ・職員の共通理解を常に心がけて同じ方向性を持てるようにした。 ・全職員で集まれる時間があってもいいなと感じる。 ・全クラスの担任が揃って集まるのが中々難しいと感じた。全担任が集まる会議も、定期的に(学期ごと等)あっても良いのではと思う。
6	学年・学級相互の連絡が円滑で、園全体として意欲や力を発揮できる組織になっている。	3.0	
7	職員会議で話われたことが教育活動や園運営にいかされている	3.4	
8	園務分掌の組織を確立し、各分掌が具体的に機能している	3.0	
☆危機管理体制		評価	意 見・改善策 等
9	安全点検は計画的に実施し、点検結果に基づいた方策が選択されて改善がなされている	2.9	・安全点検結果等に基づいて、速やかに対策など対応している。事故報告書や幼児の姿など全職員共通理解のもと適切な対応をしている。 ・園児の対応や保護者からの意見があった時等、職員が抱え込まないよういつでも共有、相談できる体制ができていると感じる。 ・安全点検は日にちを決めて計画的に取り組んだ方が良い。
10	事件・災害・幼児の問題行動・園へのクレームに対し、全教職員が共通理解のもと適切な対応ができている	3.4	
☆環境整備		評価	意 見・改善策 等
11	教室や廊下等、幼児の活動の様子や季節に適した掲示を行い、安全面での注意喚起へも配慮した整備をしている。	3.0	・季節に応じた栽培や掲示物、学級花壇の栽培活動や整備等を計画的に行う必要がある。 ・畑の栽培計画、栽培は各クラスが主となりやりたいものを取り入れてみてはどうか。 ・夏の園庭整備は、草刈りが追い付かず難しいと感じた。蜂等の対策にもつながるので、地域や保護者、業者等の力を借りることはできないか。
12	栽培活動計画が計画的に推進されている	3.0	
13	学級・園庭等、敷地内は美しく整備し、安全面でも配慮している	2.6	
☆施設設備・予算関係		評価	意 見・改善策 等
14	施設・設備は充実している	2.8	・使えなくなった備品(椅子など)をすぐに廃棄することができず、倉庫に物がたまり、整理が難しいと感じる。 ・備品に関しては、何があるのか、どこにあるのかを把握できていない部分もあるので、片付けながら表示を作る等の工夫を行ってきたい。
15	備品等の管理はきちんとされている	2.7	
16	園地・園舎の維持管理について全教職員が協力して実施している	3.0	・園庭に影が少なく夏場の日よけや、熱中症対策など、遊べる環境を整えた方が良い。 ・園地・園舎の維持管理に全職員が協力して実施できている。
17	予算の編成・執行等の方法や手続きは、適正に行われている	3.2	
☆園内研修(研修)		評価	意 見・改善策 等
18	園内研修は、研修主題に沿って、計画的に実施している	3.1	・計画的に園内研修を行い、日々の教育保育に生かされていたと思う。 ・保育の目標を達成させるためには、同僚性を高めることが大事なので、意見や考

19	園内研修の成果は、日常の教育実践の場で具体的にいかされている	3.3	え、疑問には積極的に耳を傾ける必要がある。 ・研究主題に沿った理論研修をもっと増やして実践に活かせるようにしていきたい。
20	職員がともに高めあう研究が推進できるように、意見交換や情報交換がなされている	3.4	・研修後、保育に活かされているか、フィードバックの必要性を感じた。
21	保育研究会を通して指導力の向上が図れるようにしている	3.2	・担任以外も園内研の内容を把握できるようになるといいなと感じる。
22	職員一人一人が自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動を展開している	3.1	・園内外の公開保育や保育研究も行き、振り返りやリフレクションなどを通して資質向上に努め同僚性を高め合い自己研鑽に努め、活力ある教育活動を展開している。
☆情報の発信と連携(開かれた園づくり)		評価	意 見・改善策 等
23	こども園のホームページや各種の「便り」、「通知文」等で保護者や地域への情報発信を実施している	3.3	・こども園の教育が伝わるような便りを意識して作成することができた。 ・今年度は、保こ小連携として公開保育を2回できたことは良かった。
24	保・こ・小の連携を図るために、具体的な取り組みが実施されている	3.3	・地域への散歩を計画し、学習の場、触れ合いの場をつくっていったが、地域の人材を活用し、保育を計画してけたらさらに良い。
25	保護者や地域との連携を密にし、幼児教育への理解と教育を得られるようにしている	3.2	・保育参観を通して、園での様子を保護者に見せることができる。
26	保育参観日の日程や内容は適切である	3.2	・保育参観の内容を検討し、教育保育の理解を得られるよう計画的に努めていく。
27	地域を学習の場としたり、地域の人材を活用したりしている	3.4	・地域への情報発信が課題である。 ・ドキュメンテーションも積極的に配信して、園の様子を伝えていた。しかし、配信する時間が限られているため、もっとゆとりをもって配信できる時間がほしい。

II 指導内容			
☆教育課程の編成と実施		評価	意 見・改善策 等
28	指導計画は適切に作成され、指導にいかされている	3.3	・子ども達の興味、関心にあった活動を取り入れるように意識しながら計画を立てるようにした。
29	教育時間は適切である	3.4	・主体的・対話的な遊びをたくさん取り入れ、面白さに没頭し達成できた喜びを味わうような経験を積み重ねていきたい。
30	週行事の配置は適切である	3.1	・職員同士話し合い、連携を取りながら、指導計画を作成し、実践に活かしている。
31	行事の精選は適切に行われ、計画的に実施されている	3.1	・評価については、さらに保育実践に活かせるような評価の仕方を全職員で検討していく必要がある。
32	全担任が週案を作成し、計画的に保育を実施している	3.0	・絵本の貸し出しを定期的に行い、親子で絵本に触れられる機会をもち、絵本に親しみが持てる機会を作っている。
33	絵本などに親しむ為の活動が計画的に実施されている	3.2	・プライベートゾーンについて等の話も、子ども達と一緒に考えながら話を伝える機会を作っている。
34	道徳性の芽生えを培うための活動の工夫がなされている	3.1	
35	体験的な遊びを重視し、教材の工夫や環境の工夫がなされている	3.3	
36	指導と評価の一体化が図れるように、計画的な評価を実施している	3.3	
☆幼児理解(指導・援助・教育相談等)		評価	意 見・改善策 等
37	一人一人の課題を把握し、個に応じた指導を実施している	3.5	・基本的生活習慣の定着や挨拶指導などの取り組みを行ったことで、子ども達や保護者に変化が見られよかった。
38	時間を守る、忘れ物をしない等の園生活に関わるきまりについて、意識が高まるように指導している	3.2	・基本的生活習慣の定着を図る取り組みは、連携が難しい家庭があるので、アプローチ方法を検討する必要がある。
39	進んであいさつができるように、指導の充実や取組の工夫を行っている	3.5	・生活習慣が身に着くよう家庭と連携を図りながら基本的生活習慣の定着を図る為の指導をしているが、忘れ物も多く継続が必要。
40	基本的生活習慣の定着を図るための指導をしている	3.2	・げんきっカードなどを取り入れ、家庭とも連携しながら、生活面を意識できるようにしていった。習慣的にいえるように続けていけたら良いと思う。
41	個人面談や日常的な相談活動を充実させている	3.3	・家庭との連携をさらに工夫していきたい。
42	全教職員の共通理解と協働により、いじめ・不登校・問題行動等の予防や対応は速やかに、適切に行っている	3.4	
☆特別支援教育		評価	意 見・改善策 等
43	特別支援教育コーディネーターを置き、特別支援教育の充実に努めている	3.5	・特別支援教育コーディネーターを置き、保護者の悩みや発達等についての相談にのり、保護者に寄り添い連携をとりながら、特別支援教育の充実に努めている。
44	幼児の障害の状態や特性などに応じた、個別の支援計画や教育課程を編成して、教育活動を実施している	3.5	・特別支援教育コーディネーターにいつでも相談、情報共有ができていたので継続していきたい。 ・支援に必要な園児のことを全職員で話し合い、共通理解する場がもっと必要だと思った。

☆学力向上対策		評価	意 見・改善策 等
45	組織体制は確立し機能している	3.0	・その年度に即した内容になるよう、年度はじめに内容、計画を検討する必要がある。 ・日々の業務に追われ、計画的に進められていない部分があった。年度初めから計画的に進めた方がよかった。 ・げんきっカード(生活習慣調べ)で生活習慣の意識づけは出来たが、習慣化するまでの期間としては短いので時期や期間を要検討。
46	学推の取り組む内容及び計画は適切である	3.0	
47	内容は職員や保護者に理解されている	3.0	
48	計画は円滑に実施されている	2.9	
☆子育て支援		評価	意 見・改善策 等
49	子育て支援担当者との連携を取りながら、子育て支援事業の充実を図っている	3.2	・子育て支援事業「さんさん」と連携を図り、交流を行っている。次年度は運動会を合同で行うなど、更に交流を深めていきたい。 ・年長は未就園児と交流を楽しんだ。計画的に交流をしても良いと思う。
50	園庭開放や交流保育が行われている	3.2	
Ⅲ 健康教育の充実			
☆健康・安全・食事指導の充実		評価	意 見・改善策 等
51	諸検査や健康診断等を通して健康な体を知り、健康の自己管理能力が育つように、発達に応じた保健指導を実施している	3.4	・手洗い・うがいの健康管理や歯磨き指導・食の栄養と体の関係等、健康的に過ごせるように指導している。交通安全や不審者対策など、定期的に子ども達と話し合いを行い、不審者情報を速やかに知らせ子ども達と話し合い確認を行っている。 ・園生活の中では、保健指導や安全指導を意識しているが、家庭への発信が少なかったと感じる。避難訓練の後や連休前等、クラスだより等で発信する時期を意識していきたい。
52	手洗い、うがいなどの健康管理と、好ましい集団生活が送れるよう指導している	3.4	
53	園便りや保健便りなどの家庭への配布物をとおして、保健指導を充実させるようにしている	3.3	
54	給食や弁当等を通して、食に関する指導を行っている	3.3	
55	交通安全指導、不審者対策、水難防止等のために、幼児の危機回避能力を高めるように指導している	3.3	

IV その他

--